

実用フランス語演習Ⅲ (その2)

2単位 3年 (前期)

長井 伸仁・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 フランス語圏の社会や文化を理解したり、当地の人びととの交流をはかるには、実用的なフランス語能力を身につけることが不可欠である。この授業では、比較的長い文章をできるだけ日本語を介在させず理解し、さらにはフランス語で発信する訓練をする。

【授業概要】 実用フランス語 (読解, 作文, 会話)

【キーワード】 フランス語, 言語

【先行科目】 『実用フランス語演習Ⅰ(その1)』 (1.0), 『実用フランス語演習Ⅱ(その1)』 (1.0)

【関連科目】 『実用英語演習Ⅰ(その1)』 (0.5)

【履修上の注意】 フランス語の文法を一通り学び終えていることが、受講の条件となる。文法の復習をする授業ではないので、この点に不安がある場合、積極的な自宅学習が望まれる。

【到達目標】 中等教育後期程度のフランス語を駆使できること。

【授業計画】 比較的平易な雑誌記事などを素材にして、それらを(読んで、もしくは聞いて)理解し、フランス語でまとめ、論じる。また、特定のテーマについて自身の意見をフランス語で述べる。

【成績評価】 授業への取り組み(予習・復習も含める)をもとに評価する。

【再試験】 なし

【教科書】 教材は授業開始時に指示する。仏和辞典・和仏辞典はかならず購入すること。できれば、仏仏辞典も利用するよう心がけてほしい。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218692>

【連絡先】

⇒ 長井 (3116-2,) (オフィスアワー: 月曜11時50分-12時50分)